

魚料理は外国人労働者がいてこそ可能となる。1990年代以降、結婚移民、日系人、技能実習生、留学生等、さまざまな在留資格を持つ外国人が漁獲および加工に従事し、鮮魚を楽しむ和食文化を支えている。

従来、日本の外国人労働者研究においては、自動車産業で働く南米出身の日系人労働者に関する研究蓄積が多くなされてきた。一方、農林水産業の外国人労働者にはあまり関心が向けられなかったと言えよう。近年、メディアで「外国人依存」という言葉が作られ、各産業の労働者千人にしめる外国人比率が算出されている。それによると、水産加工を含む食品加工が千人あたり80人（2009年比2.6倍）で第一位、漁業は千人あたり14人と少ないものの09年比5.4倍で伸びが大きい（『日本経済新聞』、2018年9月2日）。今後、技能実習の対象職種拡大や在留資格「特定技能」の新設に伴い、漁業と水産加工業においても外国人労働者が増えるであろう。

自動車産業と比べて、漁業および水産加工業は資本規模が小さく沿岸部に立地するため、そこで働く人びとの生活と労働は不可視的になりがちである。本シンポジウムでは、漁業の技能実習生、茨城県大洗町および静岡県焼津市の水産加工労働者に焦点をあてつつ、魚に関わる外国人労働者と彼（女）らの生活および労働の課題に迫りたい。

## 1. 漁業における外国人労働力の導入拡大とそのリスク—魚が伝える外国人労働の未来—

佐々木貴文（鹿児島大学・水産学部）

わが国の食料生産を中核で支えている漁業に、外国人労働力は不可欠となった。特に、厳しい労働環境から日本人の確保が難しい漁船漁業で、外国人依存は後戻りできない状況にまでなった。漁業の維持に欠くことができない外国人労働力であるが、今日、さらなる導入拡大が模索されている。記憶に新しい技能実習期間の5年への延長に続き、政府が検討している新たな在留資格「特定技能（仮称）」でも、漁業は対象分野とされる方向となった。

本報告では、海上労働という特殊な環境下にあつて、国民に見えにくい漁業における外国人労働の現実を可視化するとともに、進む拡充が近未来の漁業におよぼす影響を考察することで、国民生活に身近な「魚」から外国人労働問題を掘り下げていくことを目的とする。この際、静岡県にゆかりのある漁業や水産加工業における実態にも触れ、そのリアルに接近することを試みたい。

## 2. 茨城県大洗町の水産加工業における外国人労働者の受け入れの変遷

金 延景（筑波大学・博士特別研究員）

茨城県大洗町の水産加工業では、労働力不足を背景に1980年代後半から外国人労働者の受け入れが開始された。1990年の入管法改正以降、全国的に日系南米人を中心とする合法就労者の雇用が推進されるなか、他地域や他産業と比較し労働環境や条件が厳しい大洗町の水産加工業では、日系インドネシア人と中国人技能実習生によって労働力を確保してきた。しかしながら、1998年に開始された町内の水産加工業関係者の個人体制による日系インドネシア人の受け入れは、2007年頃から限界を迎えつつある。一方、2010年の入管法改正により本格化した中国人技能実習生の受け入れは、中国の経済成長に伴い減少した優良人材の渡日と、2011年の東日本大震災時の集団帰国を契機に消極的な姿勢となった。これをうけ、外国人技

能実習生の受け入れ団体では、勤勉な人材を獲得するためにより経済格差が大きい国や地域へと送り出し機関を見直すほか、日本語学校の設立と運営を通して、資格外活動許可に基づいた留学生による労働力の確保をも試みている。

### 3. 静岡県焼津市の水産加工業で働くフィリピン日系人

高畑 幸（静岡県立大学・国際関係学部）

鮪と鰹の遠洋漁業基地を持つ焼津市は、水産加工に従事する外国人数が全国一位の 711 人で、労働者総数に占める外国人比率も 17.1%と全国平均の 7.1%を大きく上回る（漁業センサス 2013）。同市では 1990 年から協同組合焼津水産加工センターがブラジル日系人の共同受入れ事業を開始して彼らの定住を支援し、2001 年には同組合が監理団体となって中国人技能実習生を受入れ、市内各地の工場で働かせている。また、2000 年代半ばからは派遣会社がフィリピン日系人を雇い、市内各地の工場へ派遣している。市内在住の国籍別外国人数は 2012 年にフィリピン人がブラジル人を抜いて第一となり、2017 年末現在、焼津市で暮らす外国人 3769 人のうち 1503 人がフィリピン人である。本報告では、1990 年代から現在までの水産加工業におけるフィリピン日系人の雇用ルートを示すとともに、焼津市内におけるフィリピン人集住地域の形成とそれに伴う地域と労働の課題について言及したい。

### 4. 静岡県焼津市におけるフィリピン人の生活課題

豊島エリザ（焼津市在住、人材派遣会社勤務）

福島県出身の祖父を持つ日系フィリピン人 2 世。セブ島生まれ。18 歳で来日し、広島県で会社勤務の後、焼津市に居住している。現在、人材派遣会社勤務のかたわら同市在住フィリピン人の支援活動も行っている。

以上